

# 外国人留学生インターンシップの受入れに関する覚書

株式会社〇〇(以下、「甲」という。)と△△大学(以下、「乙」という。)は、外国人留学生インターンシップに関して、下記のとおり覚書を締結する。

記

## 1 インターンシップの考え方

甲と乙の間のインターンシップは、大学教育の一環として実施するものである。

## 2 受入実習生及び受入部署

実習生 △△大学〇〇学部 〇〇 〇〇  
受入部署 〇〇部〇〇課

## 3 受入条件等

- |             |  |
|-------------|--|
| (1) 実習生の身分  | 実習生は乙において保有する身分のまま実習に参加するものとし、甲と実習生との間に雇用関係は生じないものとする。   |
| (2) 実習内容    | 指定する部署等において〇〇業務の一部を実習する。                                 |
| (3) 実習期間    | 平成〇年〇月〇日(〇)から〇月〇日(〇)まで<br>ただし、〇月〇日を除く〇〇日間。               |
| (4) 実習時間    | 午前〇時から午後〇時まで(休憩:〇時から〇時まで)                                |
| (5) 賃金      | 支給しない。   |
| (6) 通勤費     | 支給しない。   |
| (7) 旅費      | 支給しない。   |
| (8) 昼食費     | 支給しない。   |
| (9) 被服      | 貸与しない。   |
| (10) 傷害保険   | インターンシップ事業の主催者において負担する。                                  |
| (11) 賠償責任保険 | インターンシップ事業の主催者において負担する。                                  |
| (12) 秘密保持   | 留学生は実習期間中に知り得た秘密事項を実習期間中はもとより、実習期間終了後といえども一切他に漏らしてはならない。 |

## 4 協議事項

本覚書に定めのない事項、または本覚書に疑義が生じた事項については、その都度甲乙協議の上、決定するものとする。

本覚書の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、それぞれ1通を保有するものとする。

平成〇年〇月〇〇日

甲 名古屋市〇区△△町×丁目×番×号  
(株)〇〇

代表取締役社長 □□ □□

乙 名古屋市□区××町〇丁目〇番〇号

△△大学

学長 ◇◇ ◇◇